

## 麻しん風しん混合（MR）ワクチン 任意接種助成事業について（お知らせ）

～港区内の実施医療機関のみで実施します～

### 【麻しん(はしか)について】

麻しんウイルスの空気感染によって起こります。感染力が強く、予防接種を受けていないとほとんどの人がかかる急性熱性発疹性の感染症です。約10日余りの潜伏期の後に、カタル症状(鼻汁、咳、結膜充血、めやに等)と、いったん下がりかけて再度上がる38℃以上の発熱、全身性の発疹が認められます。また免疫機能が低下し、気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症を引き起こすことがあります。

### 【風しんについて】

風しんは、風しんウイルスの飛まつ感染によって起こります。リンパ節の腫脹、紅い発疹、軽い発熱などの症状で、通常は3日間程度で回復しますが、大人になると重症になりやすいと言われています。合併症として、関節炎、脳炎、血小板減少性紫斑病を起こすことがあります。

妊娠しているお母さんが妊娠早期に風しんにかかると、白内障、心疾患、難聴、発達遅延などの先天性風しん症候群の赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。

【対象者】 2歳以上18歳以下の港区在住者で MR ワクチン定期予防接種第1期、第2期のいずれか、または両方未接種の人。ただし、第2期対象者を除く。

(参考)定期予防接種の対象年齢

第1期:1歳から2歳未満

第2期:5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間(4月1日から翌年3月31日まで)

【接種回数】 2回(定期接種の未接種分について、同一年度内1回まで)

【接種ワクチン】 乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン

【接種場所】 港区麻しん風しん混合(MR)ワクチン任意接種助成事業等実施医療機関(名簿参照)  
※港区内の実施医療機関のみで受けることができます。

### 【接種時に持参するもの】

『区が発行する予診票』と『母子健康手帳(親子手帳)』と『本人確認書類(マイナンバーカードや医療証等)』

予診票には、体温以外の項目についてあらかじめ記入しておいてください。

【接種費用】 無料

(ただし、予診票記載の有効期限を超えての接種、港区の実施医療機関以外での接種、必要回数を越えての接種、予防接種予診票を持参しないで接種した場合等は有料。)

### 【麻しん風しん混合(MR)ワクチンの副反応】

発熱や発疹が主です。重い副反応として極めてまれですが、アナフィラキシー様症状(ショック症状、じんましん、呼吸困難等)、急性血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等)、脳炎、けいれん等の報告があります。

### 【予防接種健康被害救済制度】

予防接種は感染症を防ぐために重要なものですが、極めてまれに健康被害の発生がみられます。万が一、被接種者に健康被害が生じたときは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法と特別区自治体総合賠償責任保険に基づく救済の対象となる場合があります。

#### 予防接種を受けることが出来ない場合

- ① 熱(37.5℃以上)がある。重い急性疾患にかかっている。
- ② 麻しん風しん混合ワクチンの成分で、アナフィラキシー(通常接種後約 30 分以内に起こるひどいアレルギー反応)を明らかに起こしたことがある。
- ③ 4週間(27日間)以内に生ワクチンの接種を受けた。  
生ワクチン:麻しん・風しん・BCG・おたふくかぜなど
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ その他医師が接種不相当であると判断した。

#### 予防接種を受ける前に医師との相談が必要な場合

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患がある。
- ② 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性発しんなどのアレルギーを疑う症状を起こした。
- ③ 過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある。
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことがある、もしくは近親者に先天性免疫不全症の者がいる。
- ⑤ 麻しん風しん混合ワクチンの成分に対してアレルギーをおこすおそれがある。

#### 予防接種を受けた後の注意

- ① 接種後 30 分間は、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
- ② 接種後、生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンでは1週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ④ 激しい運動はさげましょう。
- ⑤ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合には、速やかに医師の診察を受けましょう。

【問合せ】 港区みなと保健所 保健予防課 保健予防係  
電話 03-6400-0081